



「学年通信」は、生徒の皆さんが読み終わった後、必ず保護者の方に渡してください

「スタート」

2学年主任 内藤 理恵

昨年延期された東京オリンピックが今年開催される予定です。従来とは違った形（例えば無観客とか）になるのでしょうか？そもそも無事に開催できるのでしょうか？まだまだ不透明ではありますが、数ある競技の中でも人気競技の一つとして陸上100m走が挙げられると思います。ちなみに今の世界記録は2009年にウサイン・ボルト選手が出した9秒58です。さて、みなさん、この100m走でウサイン・ボルト選手より早くゴールにたどり着くとしたらどんな策が考えられますか？もちろん普通に考えたら無理ですよ。でも「早くスタートする」と勝てますよね。競技としては成立しませんが（笑）

もう何を伝えたいかわかってくれたのではないのでしょうか？いきなり全速力でなくていいのです。中盤からグンとスピードにのるために、今はスタミナをつけておくことです。（今、比喻を使っていますよ。現代文の授業を思い出して一般化してくださいね）同じタイミングでスタートしたら勝ち目がない人に、1年後に「勝つ」ためにいつスタートするか。（ちょっと古いですが）「今でしょ！」

「飛び出せ3年生へ」

4組副担任 小林 幸彦

二年生が終わろうとしているこの時期に思うこと。クラス、コースが変わり、学校での立場が変わり、このコロナ禍の中、多くの変化が訪れた年となったことでしょうか。そこで、どれだけ自分の力を発揮することができたのでしょうか？高校での生活の要領がわかってきた中でうまく自分を引き出せたでしょうか？よく『中だるみ』と言われる学年ではありますがそんな言葉に感わされず前進できたでしょうか？自分で何か『成長できた』と感じることができているならば、三年生に向かって大いに前進できた1年だったはずですよ。自信をもって突き進んでください。『そうでもなかった』『もっとできることがあった』と感じている人はいよいよ危機感を持ってください。みんなに残された時間はあと1年、高校生活の集大成になる時間です。これは誰が多く持っているとか、少ないというものではありません。平等に与えられた時間です。その中で何を成し遂げたいのか、学習、学校行事、部活動、進路等で自分が達成したいことが必ずあるはずですよ。その目標に対して自分がどのように行動すればよいのか考え、実行する。何度も繰り返しやってきたことですが、今年は勝負の年！高校生活を振り返りしっかりと前を向く！もう三年生の0学期はスタートしています。あなた達の共通テストのカウントダウンも表示されました。残された時間、定められた時間を常に意識して

さあ三年生に・・・



～今年の節分は124年ぶりに2月2日～

なぜ今年の「節分」の日付は変わったのでしょうか。「節分」とは、立春の前日とされています。つまり立春の日付が決まると節分の日付も決まります。地球が太陽を1周する公転周期は、365日と6時間弱。この6時間のずれを閏年で補正していますが、この補正で約45分のずれが生じます。こうした暦のずれと補正の繰り返しによって、立春の日付が変わるので「節分」の日も変わります。

2月の行事予定

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
01	02	03 ▲	04	05 木曜日授業 スキー教室(1年)	06	07
08	09	10 ▼	11 建国記念日	12 第4回定期試験時間 割発表 学習強化週間	13 SOW(課題研究)	14
15 学習強化週間	16	17	18	19 第4回定期試験	20	21
22 第4回定期試験	23 天皇誕生日	24 2/27の振替休日	25 第4回定期試験	26 第4回定期試験	27 同窓会入会式 表彰式 別れの言葉 卒業式予行	28
01 第4回卒業証書授 与式	02 ④⑤大掃除	03 後期募集検査	04 入試採点	05 入試採点	06	07

共通テストを終えて(河合塾の分析より抜粋)

総論として、教科・科目により強弱はあるが、事前に大学入試センターから示されていた問題作成の基本的な考え方、各教科・科目の出題方針に概ね則った出題となった。

センター試験と比較すると、知識や解法の暗記のみで解答できる問題は少なくなった。より理解の質を問う出題であり、思考力、判断力を発揮して解くことが求められる問題が重視され、身につけた基本的な知識や解法、公式の使い方などを十分に理解した上で、それを様々な場面で実践的に活用できるかを問う出題傾向がセンター試験よりも強くなっている。

また受験生にとっては初見と思われる教科書に載っていない資料や実験なども扱われている。これらの問題では既知の知識を基に推論したり、資料や問題文の情報から推測し考察する力が問われた。

出題の形式はセンター試験から変わっているが、学ぶべきことは、教科書に載っている基本的な知識の習得や解法、公式の使い方などに変わりはない。しかし、共通テストで出題されているような様々な場面でそれらを活用するためには、公式や解法について、単に暗記をしていることで同じパターン(類型)であれば解けるということではなく、なぜそうなるのかという本質的な理解をすることで、いろいろな状況で使える知識・技能として身につくものとなる。

共通テストで出題される題材は、日常的な場面の設定や学習の場の設定が多いことから、日常的におこる事象を様々な科目の視点で考えてみることもいいだろう。

そして、授業を受ける際には、ぜひとも“聴き覚える”という受け身ではなく、積極的に参加する意識で臨んでほしい。

5-8文系(900点)	2021	553.7	646.1
	2020	551.1	647.6
5-7理系(900点)	2021	561.5	645.0
	2020	554.1	654.2
国語	2021	118.0	137.2
	2020	119.7	141.0
数学ⅠA	2021	57.9	70.8
	2020	52.2	65.9
数学ⅡB	2021	59.4	76.7
	2020	48.6	65.9
外国語計	2021	116.4	136.3
	2020	116.6	144.2

Benesse データネット(自己採点集計)